

袴田里見 はこまだ 社會運動家。明治二十七年八月十一日青森縣上北郡下田村生れ、平成二年五月十日歿（九〇四一九）。攻玉社中學校退。大正十四年モスクワのクーデツ（東洋勤勞者共產主義大學）に留學。昭和二年歸國して日本共產黨再建運動に従事。十年ス・ハイ査問事件で逮捕下獄。終戦出獄後、黨中央委員、四十五年黨幹部會副委員長、五十二年年宮本顯治批判などで規律違反に附はれ、除名。

著書 『獄中日記一九四五年』（昭和五十年九月二十日新日本出版社）、『私

の戦後史』、『同志宮本顯治へ』（昭和五十二年十一月二十日新潮社）、『私

の戦後史』（昭和五十二年十一月二十日朝日新聞社）等。

私の戦後史 袴田里見 週刊朝日 好評連載

獄中日記 1945年

袴田里見



苦難に耐えた獄中闘争の末、ついにむかえた8月15日。"我生き残りたり。の胸をうつ文字！ 戦後30年、はじめて公にされる著者の獄中記録。" 新日本出版社 1500円

